

謹賀新年

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

令和八年 元旦

阿部敏雄(敏翁)

以下の話題で新年の御挨拶に代えさせて頂きたいと思います。

1. 昨年最大の話題は、映画「国宝」を4回観劇した事です。



図 場所は京都 南座の設定 演目は「二人道成寺」 左は吉沢亮
演ずる花井東一郎（立花喜久雄）、右は横浜流星演ずる花井半弥
(大垣俊介)

それも超高齢者の映画鑑賞法の追求でした。1回目はそのままでしたが、2回目は10万円台の補聴器で、3回目は40万円台の**補聴器**で、そして4回目に**字幕メガネ**で満足出来るレベルに到達したのでした。

3回目でもセリフが完全には聞き取れなかったのですが、字幕メガネでは完全に読める事が出来、更にこの映画は歌舞伎を扱っているので、常磐津、淨瑠璃の類が履んだんに盛り込まれているのですが、その歌詞も完全に読むことが出来ました。

補聴器の説明は次頁に、字幕メガネは次次頁にあります。

充電式&スマートチャージャー仕様で いろいろスッキリな、おすすめモデル



* 同社の総合カタログによると、「同社は病院で補聴器相談をするために生まれた会社で 専門店を全国38ヶ所に開設し、病院内で相談を行っている。」とあります。

一回目の映画観劇で余りにもセリフが聞き取れないので、近くの汐田総合病院耳鼻咽喉科で診断を受け補聴器を検討する事にしました。

本病院と提携している補聴器専門店「マキチエ社」(*)が病院の一室を借りて営業活動を行っているのです。そして取り合えず簡単な10万円代の補聴器を借りて観劇した後、左図の40万円台を借りて三回目の観劇となった訳です。

この補聴器は、使わないときは専用充電器に収めれば自動的に充電してくれます。

字幕メガネの使い方



*対象年齢は小学生以上です。

見え方には個人差があります。
視聴中に疲労感、不快感など
異常を感じた場合は、使用を
中止してください。

「字幕ガイド」対応マーク



1. 座席で字幕メガネを装着してください。

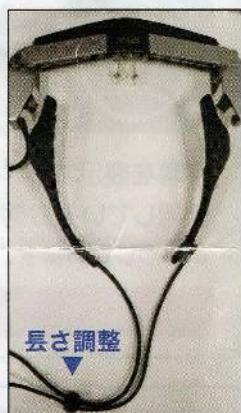
ヘッドセットのツル部分を両手で開きながら装着してください。



※眼鏡をかけた上から装着ができます。
(幅約147mmまでの眼鏡をご使用の場合のみ)

装着後、固定バンドを締めて
いただくことで、重心が安定し
頭にしっかりと固定できます。

※スクリーンを見て待機画面の文字がはっきり見えない場合は、
左右どちらかにヘッドセット部分をずらすように掛けなおしてください。



2. 映画本編の上映開始と同時に字幕ガイドがスタートします。

バリアフリー字幕をお楽しみください。

この字幕メガネは、私が
観劇した109シネマズ川崎
(ラゾーナの5階) では予
約して無償で借りる事が出
来ました。

左図は、その時貰った資
料の一部をコピーしたもの
です。



上記40万円代の補聴器を購入。その可能性を追求中です。テレビ視聴に時間を過ごす事が多いのですが、番組によっては字幕表示が不完全で聞き取れないこともあります。

①補聴器の状態を制御するソフトをスマホにダウンロードし、微調整する事で試聴性の向上を図っています。

②更に**テレビアダプター**なる機器を導入し、更なる向上を目指しています。

その状態のスマホの画面を左に示しました。

今は②の状態を示しています。左上の「汎用」をタッチすれば①の状態になります。

②について簡単に説明します。テレビの背面にある光デジタル音声出力とアダプターを光ケーブルで繋ぎ、その音声データーをブルートゥスで補聴器に届けるシステムです。**マーク**をタッチする事により音波を補聴器と遮断する事が出来る為、自分に合った条件を幅広く探る事が出来ます。

2. カラオケ会再開

幹事が安達元一さんに変わり、暮れの17日
久しぶりのメロディハウスでの開催、大盛会でした。



上図 カメラ及び撮影指導は佐藤幹郎さん（右端）
安達さんは左端、右から5人目が久子ママ

久しぶりに久子ママと「浪花恋しぐれ」を
歌えて大満足でした。
この歌に惹かれるのは、歌詞の中にある
(勝手に編集したものですが)
るんや”わい”です。
私の長い人生の中でひと時、そんな気分で
あつた事を懐かしく思い出すからでしょうか
。“わい”ど阿呆春團治は、日本一になつた
。

再開を機に、自宅に新しくカラオケ練習環境を設置しております。
主役はソニーのワイヤレススピーカー **SRS-XV500**。

"SRS-XV500"で検索すれば、特徴など出てきます。

鳴らす音楽は、スマホに入れた**"Dヒツツ"**収納曲です。

スマホとスピーカーは、ブルートゥスで接続します。

更にスマホに**Sony Music Center**をダウンロード、そのカラオケ機能によって
カラオケ会場に準じた状態を設定できるのです。

その状態を隔靴搔痒の感はありますが、スマホの画面を使って説明して見ます。

次頁左図は、Key Control で一段キイを下げた状態を示しています。

私の場合、通常男性歌手の歌で2段、女性歌手で3～4段下げる事にしています。

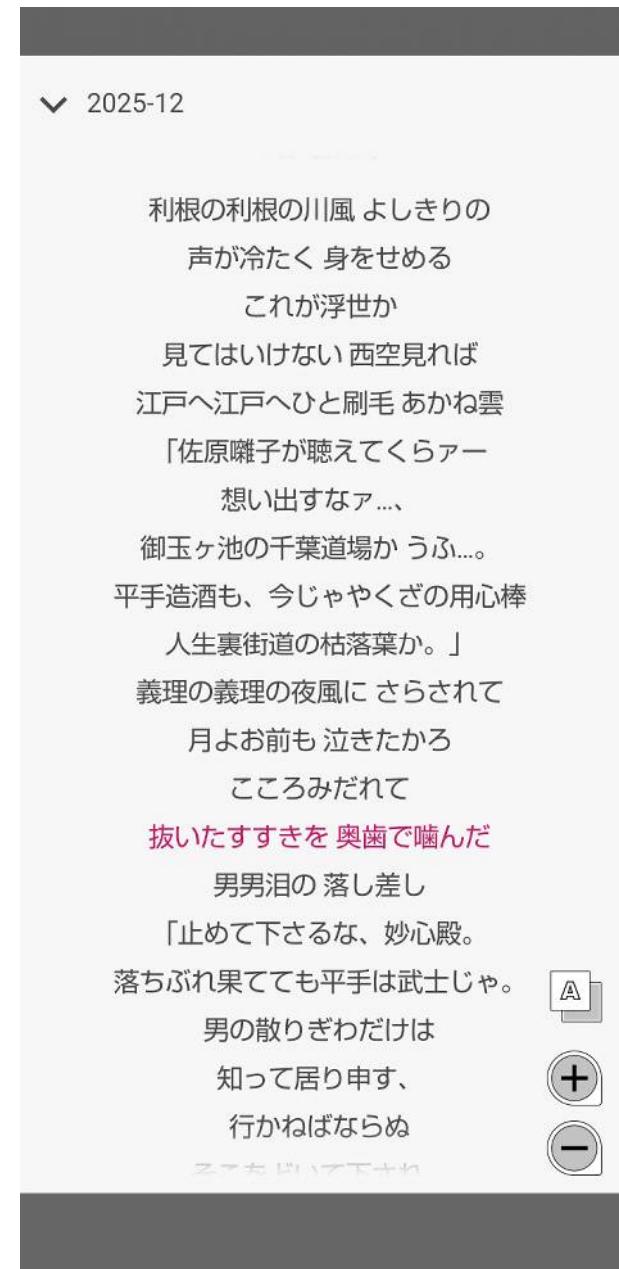
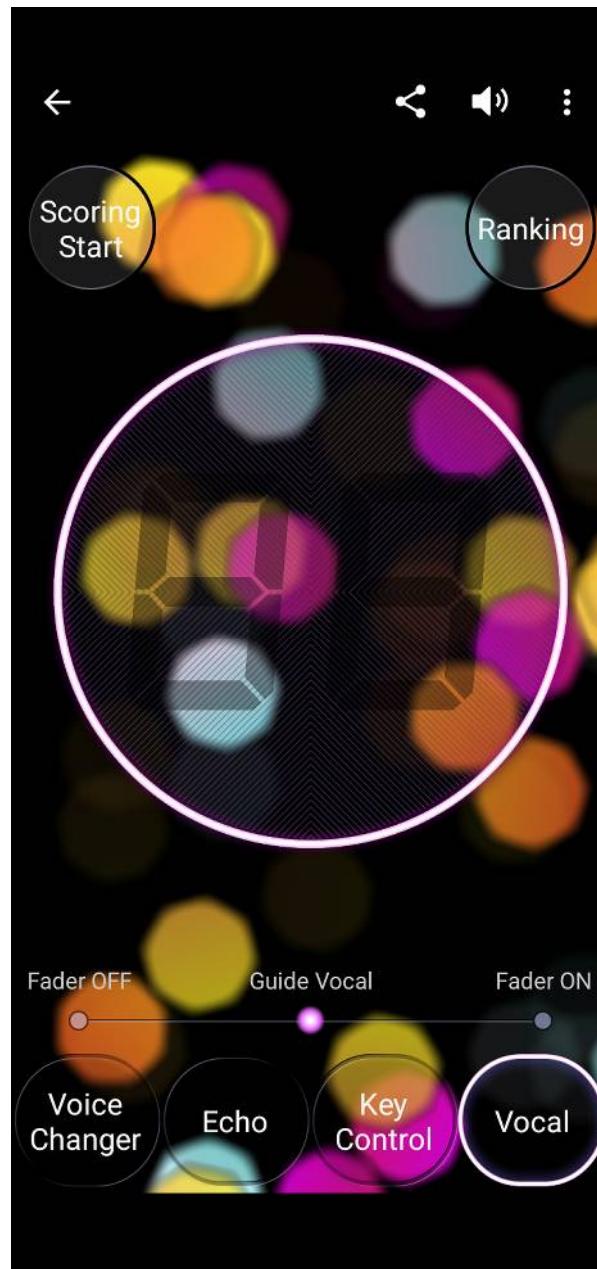
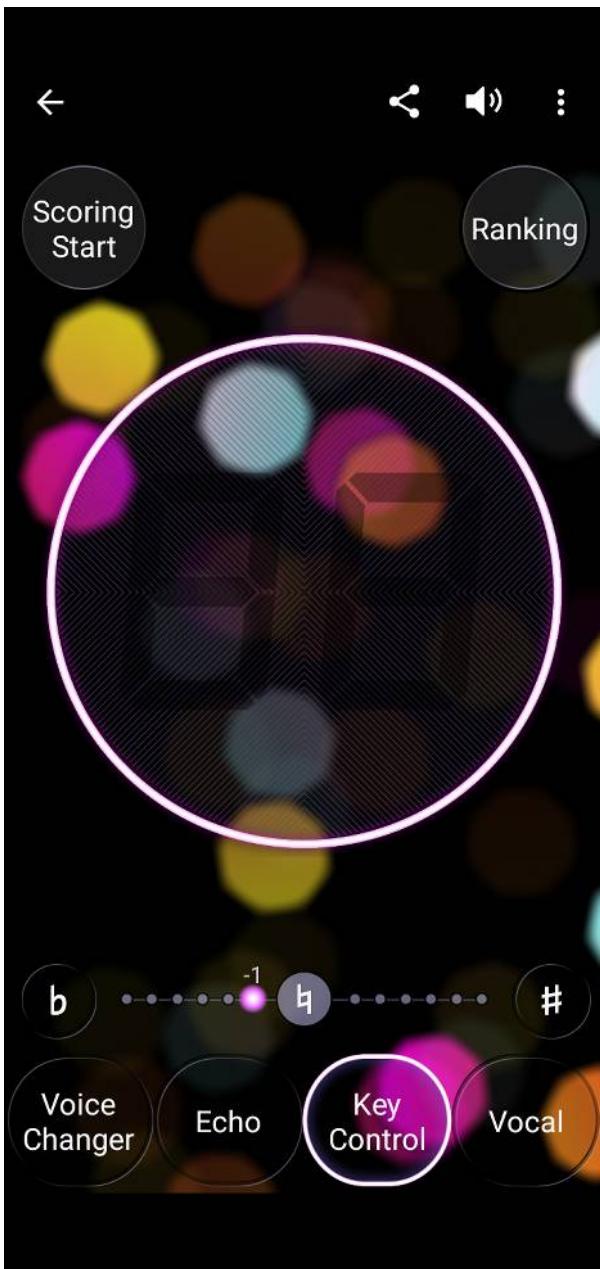
中図は、Vocalの状態をGuide Vocal にした状態を示しています。

この状態では、演奏音は変えず、歌手の音量のみを可成り下げて歌い易くなります。

右図は、Dヒツツの機能で、歌詞と今歌うべき行を示しています。

歳をとると歌詞をすぐ忘れてしまいます。これを見ながら歌うのが便利です。

尚、画面の曲は、三波春夫の「大利根無常」です。



終わりに一言

以上、今回も書き散らしましたが、昨年もSRS-XV500から始まって映画「国宝」4回観劇、補聴器、字幕メガネ、テレビアダプター、ここまで既述ですが、それに加えて関連書籍（吉田修一著「国宝」を含む）の乱読とある意味で駆けて、駆けて、駆けて、駆けて、駆け抜いた年でした。これは高市総理の言葉を捩ったのですが、今年が午年である事にあやかって今年流行りそうな予感がします。

そして実は私が昭和5年の午年生まれです。

多分私にとって最後の午年になると思います。

身体的にはもう駆ける事は困難ですが、それは車の安全運転でカバーする事とし、頭脳の働きでは、今年も何か新しい分野を駆け抜けたらと思いつつ本ウェブ年賀状を書き収める次第です。

完